

子ども食堂のクラウドファンディングの認知度調査に関する、 県政モニター調査結果

(調査目的)

子ども食堂のクラウドファンディングの認知度について県民意見を聴取し、今後の施策の参考とする。

(調査概要)

①調査対象：県外モニター（33名）

②調査方法：県外モニターあてアンケート

郵送・・・郵送にて送付、返送

メール・・・メールによるアンケート用紙送付、返信

簡易申請・・・簡易申請システムによる入力、データ出力

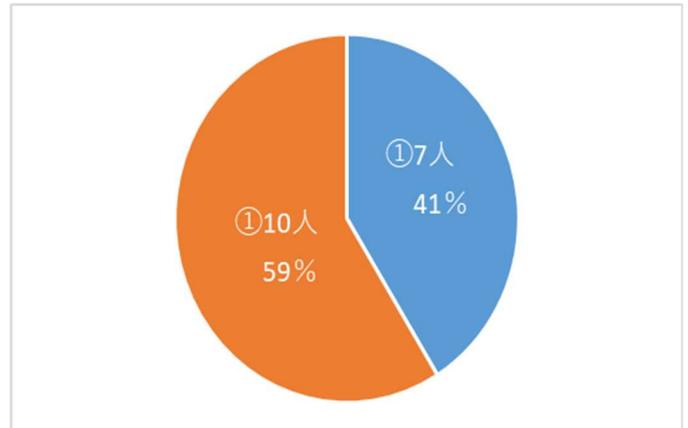
③調査時期：令和4年10月

④回答者数：17名（回答率51%）

問1

クラウドファンディングを実施していることを知っていましたか？
 (以下の選択肢からひとつお選びください。)

- ① 知っていた
- ② 知らなかった



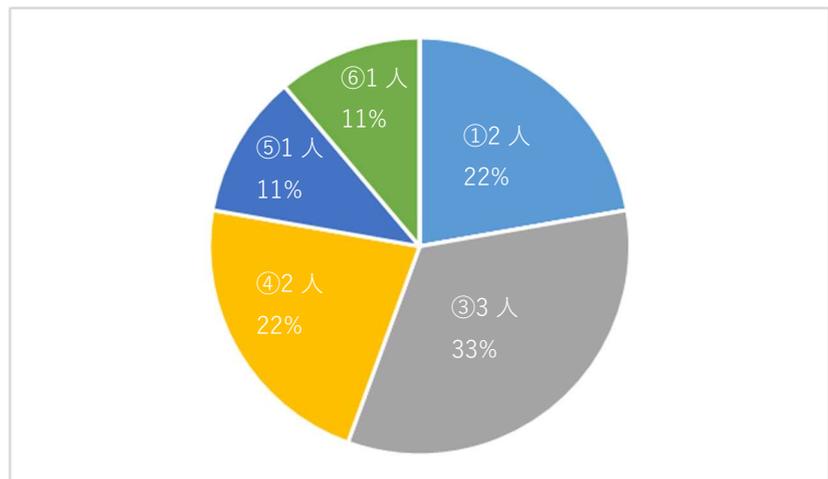
※ 未回答 0件

	①	②	計
回答数(人)	7	10	17
割合(%)	41	59	100

問2

1. で「知っていた」と回答した方にお聞きします。
 実施していることをどこでお知りになりましたか。
 (複数選択可能です)

- ① テレビや新聞・ラジオ
- ② 雑誌や本
- ③ SNS やインターネット
- ④ メール
- ⑤ ポスターやチラシ
- ⑥ 知人から聞いた
- ⑦ その他



	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	計
回答数	2	0	3	2	1	1	0	9
割合(%)	22	0	33	22	11	11	0	100

問3

クラウドファンディングの周知のためどんな広報が必要と思いますか？
 例：TVでCMを放映する、ちらしを学校へ配布する等、ご自由に記載ください。

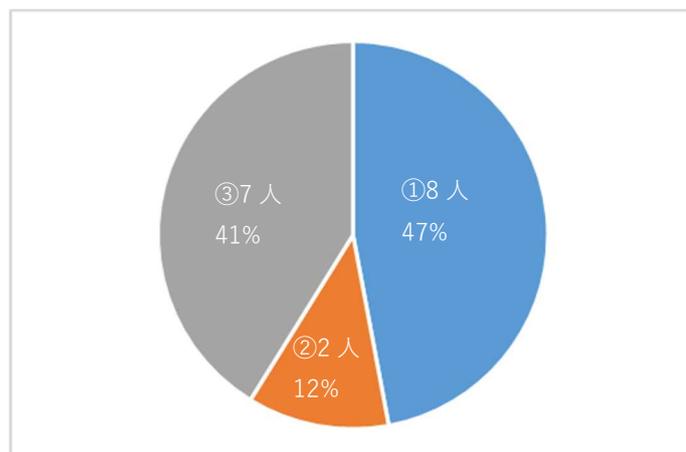
- ふるさと納税のサイトを活用する

- ・ 貴県 HP での情報公開 地元放送局での県政番組での周知
- ・ 学校や職場にチラシやパンフレットを配る
- ・ 経済 3 団体と言われる団体に働きかけると、所属している法人に一気に周知できる。大分経済同友会などには大分銀行など多くの企業が参加していると思う。
- ・ メディアやインターネットおよび口コミ
- ・ 大分県ライン公式アカウントでの定期的な発信。全国県人会、同窓会組織への周知依頼。
- ・ 大分以外に住んでいる人への周知は、それぞれの地域の県人会や大分の人が集まる場所・イベントで告知
- ・ ホームページ、メール
- ・ 周知のために多大なコストをかけるのはどうかと思う。学校や企業などに支援や告知をお願いし、各組織内で広く展開してもらったりすればどうだろうか。
- ・ SNS での広報（切り口を変えて何度も）
- ・ SNS で周知する。ふるさと納税に組み込む。
- ・ TVCM
- ・ チラシを学校の配信ツール（福岡だと、あんしんメール）で配信する、インスタで広告を打つ
- ・ テレビやラジオでの情報番組での紹介、県の広報 SNS での紹介が良いでしょう。
- ・ 方法も大事だが内容の理解（何をするのか？どのような現状か？など）が必要と思われる。
- ・ 子ども食堂とは？ということをもっと理解していただくことが必要だと思う。チラシを配布しても内容理解が伴わないとクラウドファンディング実現は難しいと思う。また SNS の発信により、いかに今の子どもたちに食事の大切さと楽しさをわかってもらうための活動だということ具体的に発信する必要があると思います。
- ・ インフルエンサーに協力してもらって、SNS で拡散してもらおう。定期的に県の広報誌でアピールする。

問4

あなたのお住まいの近隣に子ども食堂はありますか。
 （以下の選択肢からひとつお選びください）

- ①ある
- ②ない
- ③知らない



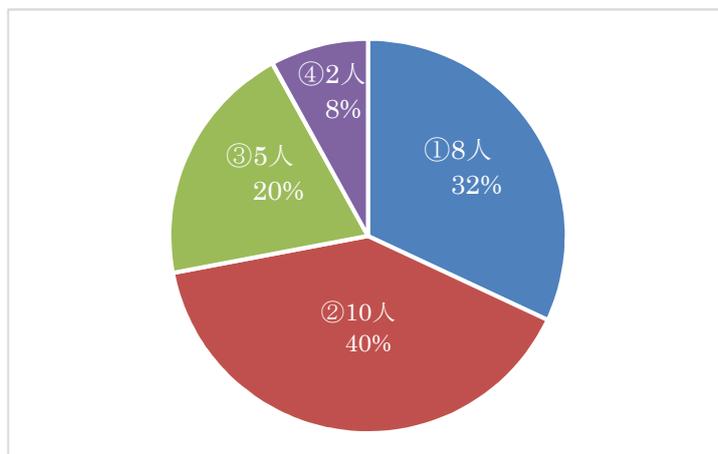
※ 未回答 0件

	①	②	③	計
回答数(人)	8	2	7	17
割合(%)	47	12	41	100

問5

子ども食堂はボランティア主体の運営で多くの方の協力を支えられています。もし、子ども食堂に支援していただけたら、どのような支援が可能ですか。（複数選択可能です）

- ①食材の提供
- ②ボランティア（食事や学習）
- ③その他
- ④なし



※未回答 0件

	①	②	③	④	計
回答数（人）	8	2	7		17
割合（%）	47	12	41		100

③その他の内訳

- ・趣味で紙飛行機を作っていますので、その延長として工作教室などでお役に立てればと思います。
- ・子ども食堂の目的、必要性などの勉強会をして理解者、応援団を増やす。子ども食堂の健全な継続を考えると経営、運営などのアドバイザー。
- ・距離的なこともあり、現地に行くことが難しいため寄付金程度の支援となります
- ・ご支援団体（企業など）のご紹介
- ・この地域であれば周知には協力できると思う。

問6

子ども食堂は近年、テレビや新聞などでもその活動が多く取り上げられるようになりました。あなたは子ども食堂にどのようなイメージを持っていますか。

（100字以内で記入してください。）

- ・ボランティアの方の活動によるところが大きいというイメージ。
- ・利用するご家庭が「支援、援助を受けている」ことで遠慮がちにならないように「胸を張って」制度を利用してほしいと思います。何ら臆せず「助け合い」の精神が育まれることを祈っています。また、周りの方も利用者に対する偏見を排除していただきたいと思います。世の中は持ちつ持たれつ、「明日のわが身」はすぐ近くに有るという事を皆さんが承知してくれる世の中になってほしいです。
- ・親の低所得により、本来必要な量の食事が取れない子供たち向けに食のサポートを実施している。
- ・子ども食堂の目的が、貧困家庭対策のように感じられる。
- ・行き場所のない子供たちが、たくさんいることに驚きました。私が子供のころは、共働きの家がほとんどなく、家に帰れば温かい食事が待っている子供たちがほとんどでした。今、核家族化で、共働き世代も増えています。地域全体で、子供たちを見守り、支えていける活動と感じております。
- ・多くの支援で成り立っているが、地域や場所によって支援不足で運営がうまくできていない。

メディアで良く取り上げられているが、真に子供のためになっている若しくはなる仕組みはどれくらいあるのだろうと知りたくなりました。

- 機会があれば応援をしたい。
- 経済情勢などから、夫婦共働きが増え、子どもの孤食が増えているようなので、これからますます必要な取り組みになるのではないかと。ただ、継続性のためには、公的な支援が不可欠だと思う。
- 地域の人々が少しずつ食材や労力を持ち寄れば子どもたちが満たされます。まずは広く知られることが大事だと思います。
- 経済的な理由で、満足に食事を与えられないケースが多いと思う。地域のイベントを子供たちに手伝ってもらい、食事を提供する機会を増やすべき。
- 子供を救う愛のある試みだと思います。ぜひ、今後もよろしくお願いします。
- 私は子ども食堂に参加し、調理の加勢をしたり、子供らへ学習の指導も実施しております。ひとり親子育て世帯が多く、貧困さに驚いております。
- 地域コミュニティ形成とSDGs実践の場と思いますが、その活動と利用実態をもっと知る機会があると応援することに理解が得られると思います。
- 食生活の楽しさ、大切さを子供達に感じてもらえることにとても大きな役割を果たしていると思います。しかし、誰でも行けるというのでは単に近くに住んでいて無料または安価で食事を提供してもらえると本来の趣旨とは違う人が増えてくるとクラウドファンディングに賛同している方にとっては疑問に感じるのではないかと思います。

特に私たちの世代は、働いていても自分の家族のためには食事を作るのが親のあるべき姿であると思っています。貧困家庭の場合は別ですが、貧困か働いているかの区別なく受け入れるのが子ども食堂なのでしょう。

安易に利用するのではなく、週に何回という利用制限があってもいいと思います。

- 共働き世帯が増えているため、子ども食堂の利用者は今後も増えると思われる。孤食の解決だけでなく、子供と大人たちのつながりや地域社会の連携の有効な手段。食事はきっかけだが、食事以外の活動で学力向上や自炊の力を付けるために子どもにも調理に参加してもらうなどの活動が望ましい。何よりも、子どもが安心して過ごせる空間を提供することが重要だと思う。